【奈良県】

奈良県立商業高等学校
コミュニティ再生プロジェクト

高校生ボランティア・アワード2023

神社消滅の危機を救う?!
「神社のあるべき姿とは？」

活動概要

「神社のあるべき姿…」と聞いてみなさんは何を思いますか？
・神事を粛々と行い、伝統を守っている場所。
・清浄で豊かな自然があるところ。
・お祭りで楽しいところ。
・困ったときに拝みに行くところ。　などの意見がたくさんありました。

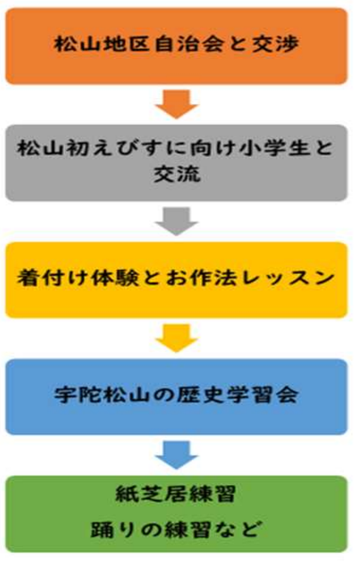
しかし、過去の歴史をさかのぼってみると、地域の人々が寄り合う場所で、みんなで協力して困難に立ち向かい、みんなで収穫を喜び合う。それら一つ一つを神様にお伝えする神事で、祈りを捧げていた場所でもありました。寄り合いどころとしての機能が強かったのではないかと思います。

ところが近年、少子高齢化が急速に進展した結果、人口減少が進んでいます。また核家族化が進み人間関係や地域のつながりが希薄になっています。戦前までその役割を果たしてきた寺院が存続の危機にあります。

私たちは寺社を元気にすることが、地域の活性化につながり、その活動こそが地域の絆を深め、多世代間交流の場になるのではないかと考えました。

そこで、宇陀市松山地区で長年自治会長をしながら、地域再生に取り組んでおられる菊岡様とお会いし、コロナ禍もありしばらく中止となっていた地域の伝統行事「松山初えびす」を復活させることにしました。地域の若者と、これまで街を守ってきた高齢者がつながり、一つの行事を作り上げ毎年継続していくことで、「この街に住み続けていきたい」という若者が増え、「まだまだ地域の為に」と生きがいを感じる高齢者を増やしていくこともこのプランの目標です。

全国的に増えている「空き家対策」「高齢者問題」にも対応できるのではないか？と考え、取り組みをスタートしました！



お練り

富くじ販売

紙芝居上演

みんなで踊り

「異世代交流」
高校生と小学生がタッグを組む

大宇陀市内の小学生と夏休みに現地に行き、福娘の衣装を着るため着物の歴史や着付けについて地元呉服店の方に指導していただきました。また、礼儀作法や接客についても一緒に講習を受けました。

小学生と顔合わせ

礼儀作法指導

着付け体験

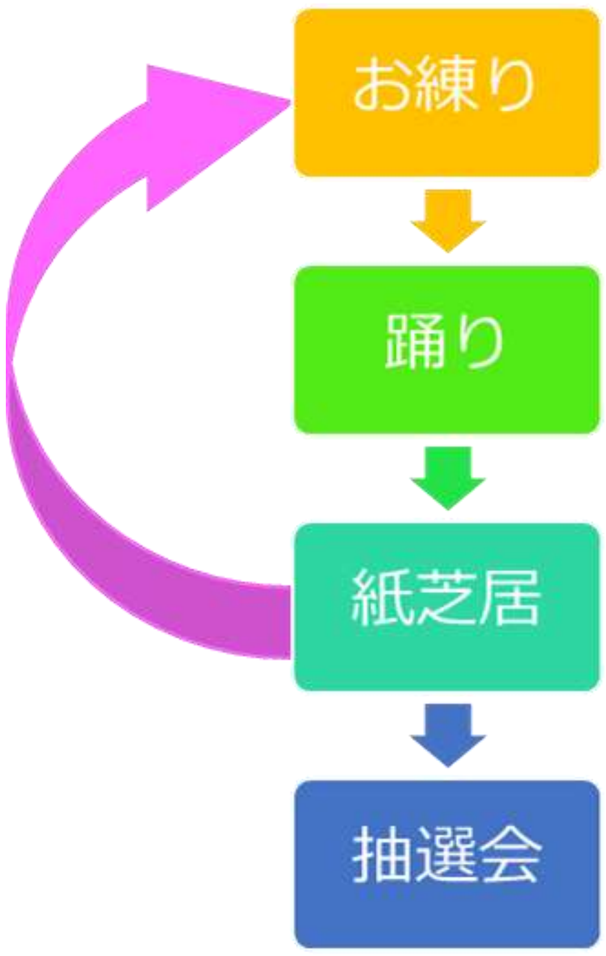
お茶席マナー指導

イベント当日は民謡『ここはええとこ、宇陀の郷（さと）』に合わせてみんなでとんどを囲んで踊るため、高校生が動画を見て覚えた振付を小学生に伝授しました。フィールドワークも行い、地域の魅力を改めて発見するとともに、この趣ある街並みを後世に残すためにも、当日は地域内外から多くの方に来ていただけるようにどうすればいいか考えました。

「よおー、まいり～♪」　当日の様子（令和5年2月11日実施）

初えびすは、かつて松山地区で開かれていた「市」の伝統を継承する行事。そこで私たちが高校生が小学生と一緒に巫女に扮して地域を練り歩きました。また、「市」にふさわしくたくさんのお店が軒を連ねるように露店商組合に協力いただき、当日は23店舗が出店。さらに地元有志の方にもお店を出していただきました。

地域の人たちに、かつてこの地を治めた藩主・織田家の紙芝居を上演し歴史を知ってもらうと同時に、地域の子どもたちに郷土愛を育んでもらえたらと考えました。



民謡『ここはええとこ、宇陀の郷（さと）』に合わせて、小学生や地域の方も参加してとんどを囲んでみんなで踊りました！小学生のお父さん、お母さんは一生懸命写真を撮っておられました（笑）

最後は、みんなで抽選会！協賛企業様のご協力のおかげで、豪華賞品ゲットのチャンスです。

朝から参加の方たちも、夕方抽選会の時間に合わせて戻ってきてくださいました。閉会式ではありませんが、抽選会前には初えびすの開催に関わった団体の代表からの挨拶や感想、今後に向けての想いををお伝えしました。

「継続は力なり」　今後の展望・夢など

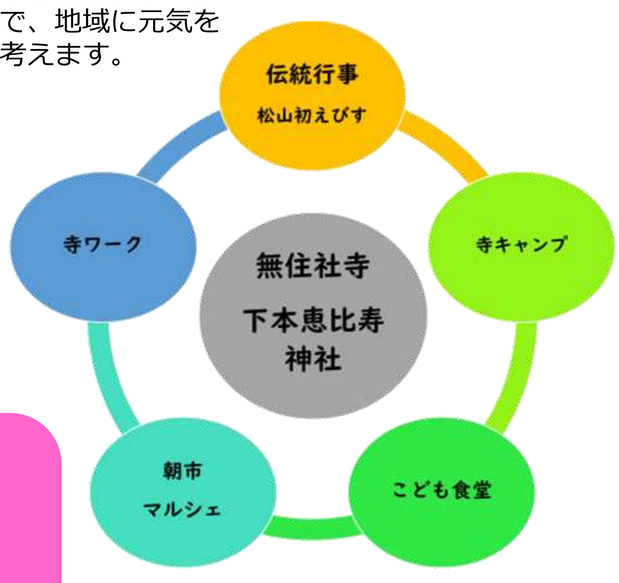
全国各地に同じように無住社寺問題を抱える地域、空き家活用に悩む地域があると思います。

このプランは地域の子どもたちには、社会体験や仲間との共同作業を通じて地域の歴史はもちろん、スマホの普及によって希薄になりつつある人とのつながりなどを深く学ぶ機会になると思います。

また、地域の方にとって過疎が進む宇陀松山地区の伝統行事を復活させることで、地域に元気を取り戻し、関係人口の増加や近隣住民とのつながりを再確認できる機会になると考えます。

行政にとっては、高校生が地域と主体となって取り組むことで、広報に活用できるほか、関係人口の増加や交流人口の増加がのぞめ、今後のまちづくりの一助となるのではないでしょうか。

地域全体が主催者となり協力することで、地域コミュニティの結束につながり、地域再生へと結びつき、無住社寺の活用がうまくいけば、さらに空き家活用にもつながり、子どもたちの未来につながると確信しています。そのために、年1回だけのイベントで終わるのではなく、無住社寺を活用したイベントを定期的に開いていきたいと考えています。



叶えたい想い

① 伝統行事「松山初えびす」の復活で、地域の交流拠点の醸成

② 空き家再生で、外部からの新しい定住人口を増やす

③ 無住社寺や伝統行事を通じて、こどもの郷土学習を進め、郷土愛を育む

④ こども食堂やマルシェを定期的に行うことで、貧困対策と高齢者の経済参加・社会参加を促す。また、地域のこどもや高齢者の見守りにつなげる。

「百聞は一見に如かず」

私たちは地元商店街や地域と連携しながら地域活性化につなげ、まちと人をつなげる賑わいの創出に取り組んでいます。

今回、『地域コミュニティの再生』と『異世代交流』をテーマに自分たちにできることを考えてきました。

活動範囲を桜井市内から近隣地域に広げたのは初めてですが、あらためて、それぞれの地域を知ることの大切さに気付くことができました。

地域の多くの方から学校の教室の中では学べない「生きた学び」を教えていただいています。今後も『地域とともに』日々勉強しながら歩んでいきたいと考えています。